

## 薬剤科 DI ニュース

### 医薬品に関する質問および新規採用薬の紹介(ソフラチュール)について

#### 医薬品に関する医師からの質問

課題:カタボン Low/Hi の長時間点滴について内科医師より質問がありました。

カタボン Low/Hi の長時間点滴についてメーカー(日研化学株式会社)に問い合わせたところ、経時的な pH および塩酸ドパミン含量の僅かな低下が認められたが、72 時間後でも製品規格に適合していた。但し、カタボン Low/Hi の長時間点滴する場合(3 日間:72 時間まで)の条件として 3 項目について注意して頂きたいとのことだった。

- |                                                                |
|----------------------------------------------------------------|
| ① ルートを換えない<br>② 光を避ける(遮光すること)<br>③ カタボン Low/Hi が着色していないか随時観察する |
|----------------------------------------------------------------|

この 3 項目条件に気を付けて使用すれば、カタボン Low/Hi の長時間(3 日間:72 時間まで)点滴することは可能となる。

フジジンレオインターチュールの製造中止(平成 16 年 9 月)に伴い、第 25 回薬事委員会(平成 16 年 8 月 26 日)にてソフラチュールを平成 16 年 9 月より採用することになりました。よってここにその相違について示します。

	ソフラチュール	フジジンレオインターチュール
一般名	硫酸フラジオマイシン	フジジン酸ナトリウム
剤形	貼付剤	貼付剤
規格	10cm X 10cm/枚	10cm X 10cm/枚
効能又は効果	有効菌種:本剤に感性の次の菌種 ブドウ球菌、連鎖球菌 適応症 :外傷・熱傷・その他の疾患によるびらん・潰瘍及び術後の二次感染並びにこれらの感染予防	フジジン酸ナトリウムに感受性のブドウ球菌に起因する次の皮膚疾患 膿皮症(膿痂疹、癬、毛のう炎) 熱傷・外傷・縫合創・植皮創・皮膚剥削創における二次感染
用法・用量	患部を清潔にした後、1日1枚を直接患部に貼付し、その上から適当にガーゼあるいは包帯で固定する。 なお、症状に応じて2枚を重ねて貼付する。	患部を清潔にした後、1日数回適量を直接患部に塗布するか、又は無菌ガーゼに延ばして貼付する。
用法・用量に関連する使用上の注意	1. 本剤の使用にあたっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、疾病の治療上必要な最小限の期間の使用にとどめること。 2. 広範囲な熱傷、潰瘍のある皮膚には長期間連用しないこと。	本剤の使用にあたっては、原則として感受性を確認し、疾病の治療上必要な最小限の期間の使用にとどめること[耐性菌の発現等を防ぐ]
薬価(平成16年4月)	¥48.30/枚	¥47.90/枚